

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 島精機製作所
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 南木 隆
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 073-471-0511

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	40,573	—	9,467	—	3,532	—	908	—
20年3月期第3四半期	52,889	82.7	14,607	223.7	16,520	195.4	9,118	378.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	25.48		24.80	
20年3月期第3四半期	254.17		238.37	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	122,232		90,558		74.1		2,618.89	
20年3月期	133,745		101,647		73.2		2,677.47	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 90,558百万円 20年3月期 97,854百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
20年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	
21年3月期	—	25.00	—	—	—	
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	40.00	

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	49,000	△29.9	9,000	△44.5	2,000	△89.5	0	—	0.00	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	36,600,000株	20年3月期	37,600,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	2,020,910株	20年3月期	1,052,466株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	35,659,890株	20年3月期第3四半期	35,874,403株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)平成21年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	40,000	△34.3	6,000	△60.0	△500	—	△800	—	△23	14

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における経済情勢は米国発の金融危機が世界の実体経済に深刻な影響を及ぼし、世界同時不況の様相を呈するようになりました。当社グループを取り巻く経営環境も、想定をはるかに上回る円高の進行や株式市況の悪化、国内外の消費の低迷、価格競争の激化など予想以上の厳しい状況に直面しております。このような中、欧州市場ではニット生産の回帰が進み、売上の回復が見られましたが、主力市場である中国、香港におきましては、米国消費市場の低迷を受けてニット製品の輸出が減少し、さらには金融引締めや労働コスト高などの要因が影響して、第2四半期以降設備投資が急速に冷え込みました。このため当社グループのコア・ビジネスである横編機事業の売上高は344億43百万円（前年同期比25.3%減）と減少しました。

デザインシステム関連事業はコンピュータ制御自動裁断機「P-CAM」シリーズの売上が伸びましたが、アパレルデザインシステム「SDS-ONE」の販売が伸び悩み、売上高は12億35百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

手袋靴下編機事業は全般に低調な推移となり、売上高は10億55百万円（前年同期比31.2%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の全体の売上高は405億73百万円（前年同期比23.3%減）と減収となりました。利益面におきましても、売上高の減少および生産台数の減少に伴う売上総利益率の低下等により営業利益は94億67百万円（前年同期比35.2%減）となりました。また急激な円高の進行により大幅な為替差損が発生し、経常利益は35億32百万円（前年同期比78.6%減）、さらに投資有価証券評価損の計上などがあり、四半期純利益は9億8百万円（前年同期比90.0%減）と、いずれも前年同期を大きく下回る結果となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は前期末に比べ115億13百万円減少し、1,222億32百万円となりました。また自己資本の額は905億58百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて0.9ポイント増加し74.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては法人税等の支払などの資金支出により11億45百万円の資金の減少となりました。投資活動においては有価証券の売却などにより9億94百万円の資金の増加となりました。また財務活動においては自己株式の取得や少数株主からの株式の取得などにより23億72百万円の資金の減少となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は195億9百万円となり、前期末に比べ31億33百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、第3四半期累計期間の経営成績が当初計画を大幅に下回ったことに加え、中国、香港市場の設備投資の低迷や、想定をはるかに超える円高の進行など当社グループを取り巻く厳しい経営環境の急速な回復は望めないと見込まれることから、平成20年7月31日に発表しました平成21年3月期の通期の連結業績予想額を修正致します。なお、個別業績予想についても同様であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計処理基準に関する事項の変更

a. 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

b. 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

在外子会社等の収益及び費用については、従来、第2四半期決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更いたしました。

この変更は、全会計期間を通じた為替相場を反映している期中平均為替相場による換算を採用することにより、損益情報をより実態に即して的確に表示する目的で行ったものであります。

この結果、従来の方法に比べ、売上高は3,453百万円、営業利益は3,010百万円、経常利益は310百万円、税金等調整前四半期純利益は245百万円それぞれ増加しております。

②追加情報

有形固定資産の耐用年数の変更

平成20年度の法人税法改正に伴い、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の利用状況を勘案した結果、第1四半期連結会計期間より耐用年数の変更を行っております。

当該変更に伴う影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,940	23,068
受取手形及び売掛金	37,588	41,204
有価証券	409	3,912
商品及び製品	11,154	11,549
仕掛品	1,082	1,107
原材料及び貯蔵品	3,807	3,521
その他	6,496	4,779
貸倒引当金	△2,733	△2,226
流動資産合計	77,746	86,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,254	6,640
土地	10,998	10,491
その他(純額)	5,155	5,727
有形固定資産合計	22,407	22,859
無形固定資産		
のれん	8,221	9,066
その他	128	144
無形固定資産合計	8,350	9,210
投資その他の資産		
投資有価証券	6,788	7,513
その他	9,368	10,036
貸倒引当金	△1,854	△2,216
投資損失引当金	△576	△576
投資その他の資産合計	13,726	14,757
固定資産合計	44,485	46,827
資産合計	122,232	133,745
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,388	9,773
短期借入金	9,335	142
1年内返済予定の長期借入金	3,000	—
未払法人税等	478	7,225
賞与引当金	358	899
債務保証損失引当金	710	670
その他	5,788	4,654
流動負債合計	26,059	23,367
固定負債		
新株予約権付社債	2,806	2,909
長期借入金	—	3,000
退職給付引当金	1,622	1,673
役員退職慰労引当金	1,124	1,086
その他	60	60
固定負債合計	5,614	8,731
負債合計	31,673	32,098

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	22,396
利益剰余金	70,614	74,924
自己株式	△6,393	△5,322
株主資本合計	100,804	106,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△930	△572
土地再評価差額金	△7,392	△7,392
為替換算調整勘定	△1,922	△1,038
評価・換算差額等合計	△10,245	△9,003
少数株主持分	—	3,792
純資産合計	90,558	101,647
負債純資産合計	122,232	133,745

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	40,573
売上原価	18,908
売上総利益	21,665
販売費及び一般管理費	12,197
営業利益	9,467
営業外収益	
受取利息	496
受取配当金	66
その他	231
営業外収益合計	794
営業外費用	
支払利息	78
為替差損	6,575
その他	75
営業外費用合計	6,729
経常利益	3,532
特別利益	
固定資産売却益	212
特別利益合計	212
特別損失	
固定資産除売却損	189
投資有価証券評価損	514
特別損失合計	703
税金等調整前四半期純利益	3,040
法人税、住民税及び事業税	612
法人税等調整額	831
法人税等合計	1,444
少数株主利益	687
四半期純利益	908

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,040
減価償却費	1,633
のれん償却額	377
貸倒引当金の増減額(△は減少)	289
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	19
賞与引当金の増減額(△は減少)	△537
受取利息及び受取配当金	△562
支払利息	78
為替差損益(△は益)	250
有形固定資産売却損益(△は益)	△97
有形固定資産除却損	75
投資有価証券評価損益(△は益)	514
売上債権の増減額(△は増加)	1,598
たな卸資産の増減額(△は増加)	△381
仕入債務の増減額(△は減少)	405
その他	1,409
小計	8,112
利息及び配当金の受取額	510
利息の支払額	△64
法人税等の支払額	△9,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△806
定期預金の払戻による収入	801
有価証券の取得による支出	△4,695
有価証券の売却による収入	8,197
有形固定資産の取得による支出	△2,209
有形固定資産の売却による収入	771
投資有価証券の取得による支出	△213
投資有価証券の売却による収入	17
関係会社株式の取得による支出	△278
営業譲受による支出	△457
その他	△132
投資活動によるキャッシュ・フロー	994

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,205
自己株式の取得による支出	△5,095
少数株主からの株式の取得による支出	△4,613
配当金の支払額	△1,872
その他	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△609
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,133
現金及び現金同等物の期首残高	22,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,509

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	横編機事業	デザインシステム関連事業	手袋靴下編機事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	34,443	1,235	1,055	3,838	40,573	—	40,573
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	34,443	1,235	1,055	3,838	40,573	—	40,573
営業利益	13,168	62	206	74	13,511	(4,044)	9,467

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品等

(1) 横編機事業……………コンピュータ横編機、セミジャカード横編機

(2) デザインシステム関連事業……………コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム
アパレルCAD/CAMシステム

(3) 手袋靴下編機事業……………シームレス手袋・靴下編機

(4) その他事業……………編機・デザインシステム用部品、ニット製品製造卸売業
修理、保守、ホテル業

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	東南アジア	欧州	北米	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,435	22,842	7,294	1,000	40,573	—	40,573
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	22,263	—	73	3	22,341	(22,341)	—
計	31,699	22,842	7,368	1,004	62,914	(22,341)	40,573
営業利益又は営業損失(△)	10,232	2,111	344	△641	12,047	(2,580)	9,467

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………英国・イタリア

(2) 東南アジア……………中国

(3) 北米……………米国

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	欧州	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	7,396	26,443	3,324	37,164
II 連結売上高	—	—	—	40,573
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	18.2%	65.2%	8.2%	91.6%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………イタリア・英国

(2) 東南アジア……………中国・韓国

(3) その他の地域……………ブラジル・米国・トルコ・シリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
I. 売上高	52,889
II. 売上原価	23,996
売上総利益	28,892
III. 販売費及び一般管理費	14,285
営業利益	14,607
IV. 営業外収益	2,090
受取利息及び受取配当金	831
為替差益	1,109
その他	149
V. 営業外費用	177
支払利息	81
その他	95
経常利益	16,520
VI. 特別利益	—
VII. 特別損失	246
税金等調整前四半期純利益	16,274
法人税、住民税及び事業税	6,391
法人税等調整額	△ 246
少数株主利益	1,011
四半期純利益	9,118

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区 分	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	16,274
減価償却費	1,742
貸倒引当金の増加額	825
賞与引当金の増加額	179
受取利息及び受取配当金	△ 831
売上債権の増加額	△ 3,416
たな卸資産の増加額	△ 1,505
仕入債務の増加額	2,307
その他	1,199
小計	16,775
利息及び配当金の受取額等	651
法人税等の支払額	△ 3,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,923
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増加額	△ 152
有価証券の純減少額	430
有形固定資産の取得による支出	△ 1,461
投資有価証券の純減少額	811
その他	△ 188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 560
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△ 4,317
自己株式の取得による支出	△ 4,078
配当金の支払額	△ 1,532
その他	△ 74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,003
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 144
V. 現金及び現金同等物の増加額	3,214
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	15,954
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	19,168

(3) 事業の種類別セグメント情報

前四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日) (単位:百万円)

	横編機事業	デザインシステム関連事業	手袋靴下編機事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	46,084	1,330	1,533	3,941	52,889	—	52,889
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	46,084	1,330	1,533	3,941	52,889	—	52,889
営業利益又は営業損失(△)	18,684	5	334	△100	18,924	(4,317)	14,607

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な製品等

(1) 横編機事業……………コンピュータ横編機、セミジャカード横編機

(2) デザインシステム関連事業……………コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム
アパレルCAD/CAMシステム

(3) 手袋靴下編機事業……………シームレス手袋・靴下編機

(4) その他事業……………編機・デザインシステム用部品、ニット製品製造卸売業
修理、保守、ホテル業

(4) 所在地別セグメント情報

前四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日) (単位:百万円)

	日本	東南アジア	欧州	北米	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,745	34,526	7,186	1,430	52,889	—	52,889
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	33,862	37	8	5	33,914	(33,914)	—
計	43,608	34,563	7,195	1,436	86,803	(33,914)	52,889
営業利益又は営業損失(△)	16,056	4,351	726	△606	20,528	(5,920)	14,607

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………英国・イタリア

(2) 東南アジア……………中国

(3) 北米……………米国

(5) 海外売上高

前四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日) (単位:百万円)

	欧州	東南アジア	その他の地域	計
I 海外売上高	6,687	39,166	4,102	49,955
II 連結売上高	—	—	—	52,889
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	12.6%	74.1%	7.8%	94.5%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………イタリア・英国

(2) 東南アジア……………中国・韓国

(3) その他の地域……………ブラジル・米国・トルコ・シリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における横編機事業、デザインシステム関連事業及び手袋靴下編機事業の生産実績を示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	生産高
横編機事業	27,254
デザインシステム関連事業	968
手袋靴下編機事業	1,043
合計	29,266

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結会計期間における横編機事業、デザインシステム関連事業及び手袋靴下編機事業の受注状況を示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	受注高	受注残高
横編機事業	20,185	7,445
デザインシステム関連事業	1,119	85
手袋靴下編機事業	931	55
合計	22,235	7,585

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	販売高
横編機事業	34,443
デザインシステム関連事業	1,235
手袋靴下編機事業	1,055
その他事業	3,838
合計	40,573

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。